

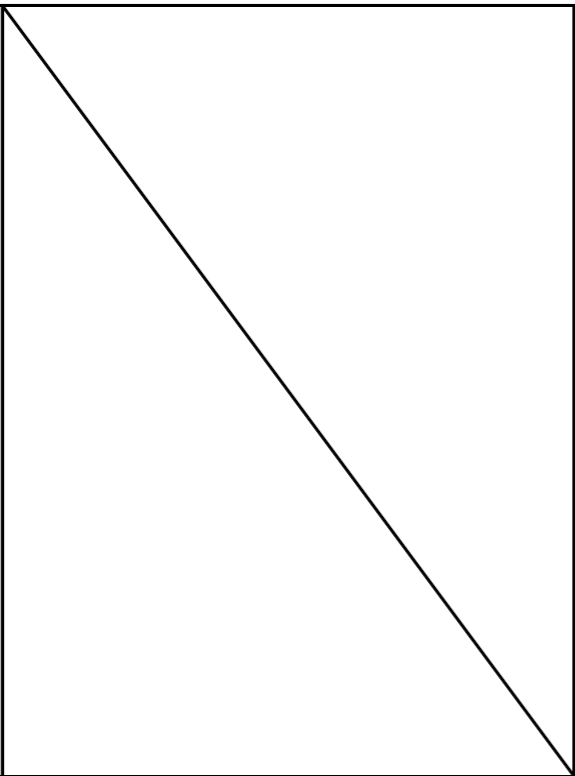
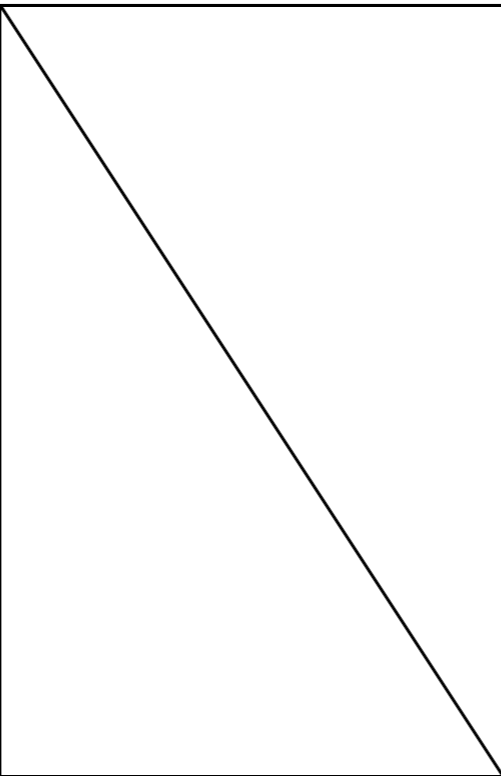
## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	有限会社 やわらぎ	代表者	寺川 勲雄	法人・事業所の 特徴	イキイキ・ワクワク出来るように毎月1回 カラオケ喫茶を行い、その他に行事の希望を利用者の方お一人お一人に聞き、年間行事をたて楽しみが増えるようにしている。 小規模多機能ホームやわらぎでネコを飼っており、やわらぎの一員としてご利用者、職員を癒してくれている。
事業所名	小規模多機能ホームやわらぎ	管理者	越智 美代子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	1人	12人	3人	1人	3人	6人	人	26人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の関わりシート①で聞きたいことがあり事業所に連絡したが、全職員が把握出来ていなかった。</li> <li>・事業所の自己評価について「利用者、家族が相談しやすい環境を作る」と挙げているが、そのためには職員が何を必要とするかについて触れると具体的な内容になると思います。</li> <li>・初めてなので分かる所と分からない所があった。大まかには分かった。質問の内容が分からない所があった。質問の内容をもう少し改善すれば分かると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の自己評価の改善計画の見直しをし、具体的な計画になるようにする。</li> <li>・外部評価の流れ・概要を職員会で説明し、事業所自己評価・地域の関わりシートの内容などを職員会までに回覧し、把握出来ているかどうかの確認を職員会で話し合いをする。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境			<ul style="list-style-type: none"> <li>・場所が奥まっている分、事業所に入り易い工夫が重要だと思います。</li> <li>・玄関に入って直ぐ事務所だが職員が不在のこともあるので、レストラン等に置いてあるベルを置いてみてはどうか。</li> <li>・中の様子が分かり辛いので玄関を入った所に看板を作ってはどうか。</li> <li>・敷地内に看板を置くか、玄関にベルがあればいい。</li> <li>・事業所内はいつも清潔感があり配慮が行き届いていて大変良いと感じていました。</li> <li>・外、玄関脇で下水(トイレ)のような臭いを感じる時が時々あります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ建物内にグループホーム、小規模多機能型居宅介護、賃貸住宅が併設しているため、玄関入口に看板を作る。</li> <li>・インターフォンの音量を上げたことで日中でも何とか聞こえるようになったため様子を見る。</li> <li>・外、玄関脇での下水の臭いについては、ご家族が来られた時に臭いがある時には教えてもらうようお願いしている。</li> </ul>

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初は職員の入れ替わりが激しく、「えっ」と思うことがあった。今は、いつ来ても雰囲気がいい。新しい職員には言いにくいですが、昔からいる職員には何でも話やすい。</li> <li>・個別に話合う機会があるので、相談しやすい。</li> <li>・地方祭の時に神輿や提灯行列に来てもらってはどうか。</li> <li>・サロン活動をされている方に事業所に来てもらってはどうか。</li> <li>・近所の子供さんに事業所の行事に来てもらい、親御さんにも来てもらえるように誘ってみてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の行事案内を今までより発信する範囲を広げ、地域の方に足を運んでもらうことで事業所のことを知ってもらえるようにする。</li> <li>・地方祭時に休憩場所として事業所の駐車場を利用してもらえないか組長さんに相談してみる。</li> <li>・建物の外での行事を増やし、近隣の方が参加しやすいようにする。</li> <li>・パンフレットの見直しをする。</li> </ul>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果が良く分からないの回答が多いので、地域に発信出来ていないのではないかと思う。</li> <li>・利用者の方が作られた作品を公民館で展示させてもらっている所もある。</li> <li>・公民館の活動に参加してみてもどうか。</li> <li>・仕事の都合もあるが、地域の行事の時に空いていれば出来るだけ参加していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域行事への参加をし、事業所のことを少しでも知ってもらえるようにする。</li> <li>・ボランティアの方に事業所に来て頂き、歌、日本舞踊の催しを行う時にも地域の方に案内をし、事業所に来てもらう機会を作る。</li> <li>・地域行事の参加時には、ご家族にも声を掛け協力してもらい利用者の方がお一人でも多く参加出来るようにする。</li> </ul>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議の参加人数は多いが、ほとんど利用者の方で地域の方の参加が少ないのでもっと地域の方に参加してもらうようにしたらどうか。</li> <li>・運営推進会議を行う日は、固定してあるほうが仕事の休みを取りやすい。</li> <li>・活動報告は文字だけでは様子が分かりにくいので、新聞のように写真等を載せることで様子がもっと分かり易くなるのではないのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちよこっと通信(発信物)の作成を充実させ、地域に発信できるようにする。(ご利用者・ご家族の承諾の確認をする)</li> <li>・運営推進会議の議事録をご家族に郵送し参加されていないご家族にも知ってもらい参加してもらえるように声を掛ける。</li> <li>・運営推進会議の開催場所を小規模多機能ホームやわらぎで固定せず、グループホームふうさんのおうちで開催する月を作る。</li> <li>・グループホームふうさんのおうちと小規模多機能ほーむやわらぎの合同で開催しない月を作る。</li> </ul>

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間は建物内に職員3名で大勢の利用者の方の避難誘導は、訓練をしていても難しいと思うので、職員の方が火の元に気をつけてくれたらいいと思う。</li> <li>・夜間想定での避難訓練はされていても、夜間帯の避難訓練は行っていないと思うので、実際に夜間火災が起きた時には寝ておられる方が多いと思います。職員が訓練でどのようにすれば良いかを検討されるといいと思う。</li> <li>・ほぼ月1回の自主訓練をしており、より身についたものになっていると思います。</li> <li>・他の小規模の事業所では、ストックハウスを作ってお米や水を備蓄をし地域の方にも使ってもらえるように発信されている所もあります。</li> <li>・近隣のスーパーに災害が起きた時には、食料品の提供をお願いしてみてもどうか。</li> <li>・私自身が防災計画など、もっと知る努力をしなければと反省しました。</li> <li>・近隣の事業所に協力してもらい、災害時には駐車場を貸してもらえるようお願いし、フェンスに通用口を作った所もあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホームふうさんのおうち、小規模多機能ホームやわらざから代表者(各利用者・職員)を決め防災委員を作り、避難訓練の内容、利用者(賃貸住宅を含む)の身体状況等の情報交換(災害時にはグループホーム、小規模の職員と分けず避難誘導をするため)、建物の構造を地域の方に知ってもらえるようにするためにはどうすればいいか等の話し合いをする。</li> <li>・ご家族に建物の構造を知ってもらうために、避難訓練に参加してもらい意見をもらう。</li> <li>・地域の方が行事等に参加してもらった時には、建物内を見学してもらい構造を知ってもらう。</li> </ul>
----------------------------	--	---	---	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成27年 12月 18日 (16:30 ~21:00)
------------------	-----	------------------------------

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	管理者(介護支援専門員)・介護職員7名
-------------------	------	---------------------

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6	6	1	0	13(13)
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	5	7	1	0	13(13)
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	6	6	1	0	13(13)
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	7	3	0	13(13)

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
<p>利用開始前に本人・家族の要望を聞き、その方に必要なサービスを見極めるように努めている。また、書面に残し職員間で共有するようにしている。</p> <p>利用開始後も日常の関わりの中から情報収集し、月1回の職員会で情報交換を行い、申し送りノートを利用し情報共有をしている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
<p>利用開始段階の支援は書面上や職員間で情報交換を行い、申し送りで伝えるが職員個々の捉え方の違いにより、きちんと伝わっていない時がある。</p> <p>他事業所、病院からADLの身体状況の情報提供をもらうこともあるが、書面だけでは分りにくいこともある。(構造上の違い・入浴時など)</p> <p>初期の段階では、利用者の関わりが手探りで行うこともあるため不安にさせてしまうこともある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>新しい情報を記録に記入する時には、青いボールペンで記入することで記録を見返す時に分り易くし、職員間の情報共有、月1回の職員会時に情報交換し対応する。利用開始後も利用者・ご家族と情報交換をする。(サービス内容・精神面での負担など)</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成27年 12月 18日 (16:30 ~21:00)
------------------	-----	------------------------------

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	管理者(介護支援専門員)・介護職員7名
---------------------------	------	---------------------

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	3	5	5		13(13)
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	4	6	3		13(13)
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	6	6		13(13)
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	7	3	1	13(13)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 職員会時にモニタリングを行い、日常生活等の様子の情報交換を行っている。 個別記録にケアプランの支援内容を記載し把握が出来るようにしている。
--------	--

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること ケアプランについての支援内容の記録の記入がないことがある。(記入漏れ) 職員それぞれが利用者の担当を受け持っているが、受け持っている利用者とは数名のケアプランの把握しか出来ていない。 (利用人数が増えると全利用者のケアプランの把握が出来にくい)
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 利用者とは日々関わる中でちょっとした日常会話や様子、動作等の記録を残す。(記録(文章)が苦手な職員も自分なりに記録する) 録の記入の際には、ケアプランの支援内容に目を通し、その日に支援出来てないことを実践する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成27年 12月 18日 (16:30 ~ 21:00)
------------------	-----	-------------------------------

3. 日常生活の支援	メンバー	管理者(介護支援専門員)・介護職員7名
------------	------	---------------------

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	2	7	2	12(13)
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排泄等の基礎的な介護ができていますか?	7	5		1	13(13)
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		8	3	1	12(13)
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	5	1		12(13)
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	8	1		13(13)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>その日の身体状況に合わせてながら食事・排泄・入浴のケアを行っている。(身体状況に合わせてながら、食事の盆に滑り止めシートを敷いたり、重度の利用者の方も複数の職員が関わりながら日中は出来るだけトイレで排泄出来るように支援している)</p> <p>本人の気持ちや体調の変化に気付いたことは、その日の勤務職員と情報交換をし、申し送り全職員が周知出来るようにしている。</p> <p>センター方式の心身の情報(私の姿と気持ちシート)に今までの生活歴・趣味等も取り込み1年に1回、聞き取りをし情報収集をしている。(ご家族がおられる利用者の方は、ご家族にも聞き取りし情報収集できるようにしている。ご家族・利用者の内容の記載についてはボールペンの色を変えて記載している。)</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>以前の暮らし方について、今まで家族と離れて暮らしておられたり、今までの家族との関係性や認知症の進行により以前の暮らし方、その方の拘り等の情報が少ない。</p> <p>通が困難な方については、利用者の意向を汲み取りにくいこともあり、ご家族の意向が重視になったり、職員の「～であろう」と推測しながら支援することがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>ご家族に現在の状況を伝えながら利用者・ご家族が相談しやすい環境作りをする。(日々の関わり時に積極的にコミュニケーションを図りながら少しずつ関係性を築く)</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成27年 12月 18日 (16:30 ~21:00)
------------------	-----	------------------------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	管理者(介護支援専門員)・介護職員7名
---------------	------	---------------------

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	8	3		13(13)
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	9	1		13(13)
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		8	5		13(13)
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		4	8		12(13)

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
<p>ご家族と遠方で住まわれている利用者の方は、手紙を出したり電話をしたりし関係が途切れないように支援している。(自筆が困難な方については、職員が本人の言葉を代筆したりしている)</p> <p>利用者、ご家族や他介護事業所から情報提供をしてもらい出来るだけ今までの生活スタイルや関係性が途切れないように努めている。</p> <p>の馴染みの場所へ出掛けれるように支援している。(大山寺・椿湯など)</p>	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
<p>利用開始前に地域との関係性が途切れている利用者の方もおられ、今までの暮らしの継続が難しい。</p> <p>利用者お一人お一人の暮らしを支えている地域資源の把握が出来ていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>利用者の方と一緒に散歩や買物、地域の行事へに出向いて行くことで、今までの地域との関係性の情報収集をする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成27年 12月 18日 (16:30 ~21:00)
------------------	-----	------------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	管理者(介護支援専門員)・介護職員7名
----------------	------	---------------------

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	5	5		13(13)
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8	4	1		13(13)
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5	7	1		13(13)
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	8	1		13(13)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>ご利用して頂いていたご家族が、契約終了後も事業所に足を運んで下さり、利用者の方との会話や散髪、日程が合う時には事業所の行事に参加して下さい。</p> <p>事業所の行事時(夏祭り・クリスマス会・餅つきなど)にご家族・民生委員さん・見守り委員さん等が来て下さり手伝って下さっている。ボランティアで歌や日本舞踊、琴、ピアノの演奏に招き、利用者の方が楽しめるようにしている。また、詩吟の先生が事業所に来て下さり、今まで詩吟をされてこられた利用者の方と他利用者の方も一緒に詩吟教室を定期的に行っている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>地域住民との日常的な関わりがない。(挨拶程度になっている)</p> <p>介護事業所があることを地域の方に周知してもらえていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>事業所から地域に発信していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の行事案内の範囲を広げる。</li> <li>・職員の人員調整を行い、利用者の方と共に地域の行事に出来るだけ参加し事業所のことを少しでも知ってもらえるようにする。</li> </ul>	



事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成27年 12月 18日 (16:30 ~21:00)
------------------	-----	------------------------------

6. 連携・協働	メンバー	管理者(介護支援専門員)・介護職員7名
----------	------	---------------------

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	4	2	4	2	12(13)
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		2	6	3	11(13)
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2	4	4	3	13(13)
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	7	1	2	12(13)

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
福祉用具貸与事業所、訪問看護等の方にサービス担当者会議への出席をお願いし、出席が難しい場合には意見や助言をしてもらっている。利用者の担当職員にサービス担当者会議に参加してもらうようにしているが、会議の日が休みの時には、事前に情報を交換し会議には他職員が出席するようにしている。 職員の人員調整をし町内会の避難訓練に参加出来るように努めている。 近隣の子供さんが事業所に遊びに来てくれている。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
地域の行事へ年に1, 2回位しか参加出来ていない。 (行事参加が少ないため地域の方と顔馴染みの関係性になりにくい)	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
事業所の職員の人員だけでは、利用者と一緒に地域行事へ参加することが難しいため、ご家族等に声を掛け協力してもらえようとする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成27年 12月 18日 (16:30 ~21:00)
------------------	-----	------------------------------

7. 運営	メンバー	管理者(介護支援専門員)・介護職員7名
-------	------	---------------------

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	6	4		12(13)
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	8	2		12(13)
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6	5	1	13(13)
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		4	5	2	11(13)

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること 月1回の職員会議に代表取締役の参加や年2回職員が自己評価をし、個別面談を行っている。 月1回各代表取締役、事業所の責任者が集まり運営企画会議を行い、各事業所の報告や運営に関する意見交換をし反映出来るように努めている。
--------	--

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること 地域への情報発信が出来ていないため、地域に事業所の存在を知ってもらえていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ご家族に現在の状況を伝えながら利用者・ご家族が相談、意見しやすい環境作りをする。(日々の関わり時に積極的にコミュニケーションを図りながら少しずつ関係性を築く) 特定の地域の方(町内会長さん、民生委員さん、見守り委員さんなど)だけではなく、行事案内をする範囲を少しずつ広げ事業所へ足を運んでもらう機会を作り、事業所のことを少しでも知ってもらえるようにする。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成27年 12月 18日 (16:30 ~21:00)
------------------	-----	------------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	管理者(介護支援専門員)・介護職員7名
-----------------	------	---------------------

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5	1	4	3	13(13)
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5	2	3	3	13(13)
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	4	6	12(13)
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	2	3	5	12(13)

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
<p>法人内で年間計画を立てて研修を行っている。「看取りについて」「自立支援」等) シフトの調整をし出来るだけ研修に参加できるようにしている。</p> <p>今年度より身体拘束・虐待防止委員会を作り、各事業所より委員会の代表者を決め研修を行っている。(今年度は4回 講師を招いて研修を行っている)</p> <p>今年度1年間、外部のコンサルタントの研修も受けており、職場環境等の見直し、改善に努めている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
<p>外部への研修参加が少ない。</p> <p>ヒヤリハットの記入が出来ていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>危険予測の視点を持ち日々関わる(ヒヤリハットの記入・対応策の話し合い)</p> <p>後もシフト調整をしながら法人内、外の研修に参加出来るようにする。</p>	
	今

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成27年 12月 18日 (16:30 ~21:00)
------------------	-----	------------------------------

9. 人権・プライバシー	メンバー	管理者(介護支援専門員)・介護職員7名
--------------	------	---------------------

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	11	2			13(13)
②	虐待は行われていない	10	2			12(13)
③	プライバシーが守られている	7	3	2		12(13)
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	1	2	3	10(13)
⑤	適正な個人情報の管理ができている	10	1	1		12(13)

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること 身体拘束をしないようにベッド下に布団等を敷き対応している。
--------	--

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること 申し送り、排泄の声掛けや職員間での排泄の有無の確認時、声が大きく配慮が足りないことがある。 個別記録の記載途中で、利用者の方の対応をしなければならない時に記録を開いたままの時がある。 他の利用者対応時やその時々状況により直ぐ対応出来ない場合に待ってもらおうことがある。(対応に追われ、なぜ待ってもらわないといけないかの説明が十分でないことがある。) 身体拘束・虐待のグレーゾーンが分らない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 日々の関わりの中で身体拘束・虐待についてのグレーゾーンではないかと思うことは、職員間で話し合いをしながら対応していく。 年後見人制度についての研修参加の機会を作る。
---------------	---